

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza.co.jp/ga-tpc>

● このNEWS LETTERは、全銀座会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●

2月22日(金)から24日(日)まで、教文館ウェンライトホールにて、工学院大学と慶應義塾大学の大学院学生たちによる、銀座調査研究の展示会と発表会を開催しました。名付けて「銀座ストリートスクーリングプログラム(GSSP)」(協力:工学院大学大学院、

慶應義塾大学小林博人研究室、主催:銀座街づくり会議、後援:全銀座会、銀座通連合会)。今年で第3回目を迎えました。学生ならではの調査と、銀座に対する新鮮な提案に、来場者は感心していました。

第3回「発見!銀座」展

GINZA STREET SCHOOLING PROGRAM 2008-09

今回、研究発表をしたのは、工学院大学大学院と慶應義塾大学および大学院からの計6グループで、建築デザインや都市デザインを学ぶ大学生・大学院生たちです。

工学院大学大学院・都市デザインスタジオ ー銀座のパブリックスペースとは?

工学院大学大学院・都市デザインスタジオの3グループからはそれぞれ、「銀座公共空間」「Ginza Green Code」「銀座に『住む』を提案する」といった発表がなされました。

●銀座のなかにはなかなか存在しにくい公共空間をいかにつくりだしていくか。私道であり、銀座の街の歴史的特徴ともなっている路地を、既存の建物をリノベーションすることで、有効に活用し、残して行く方法の提案。

●高速道路を利用して、銀座に緑の道、風の道をつくったり、従来の消費型の街から、環境に配慮した循環型の街にしていく提案。

●ショッピングや職場としての銀座だけではなく居住する街として銀座を捉え、どんなライフスタイルのどんな住まい方があるか。具体的な人物像を想定しての提案。などがありました

慶應義塾大学・大学院

小林博人研究会/応用環境デザインスタジオ

また、慶應義塾大学からは、東銀座を中心とした調査と分析を行った「東銀座における路地空間の提案」「木挽町文化に根付く再開発とは?」「木挽町における新たな文化交流の場の提案」「木挽町のスケール-多様性と路地」といった発表がなされました。かつては木挽町と呼ばれた東銀座地区の、西銀座地区とは違う特徴を洗い出しています。建物用途としては、オフィス、住居が多く、文化的には料亭、演劇、出版があります。住む/働く/休むといった生活に必要な要素が混在しており、さ

まざまなお店から活動が通りへとにじみだしています。そんな街を歩き回ったり、情報発信していく提案がなされました。

慶應義塾大学大学院・修士研究 ー銀ブラと建物の関係

「『通り』を構成する表層の特性研究-『銀ブラ』を誘発する空間的要因の考察」では、歴史をふまえ、1500軒以上の建物をひとつひとつ分析し、10以上の通り会へのインタビューなどをしたうえで、銀ブラと呼ばれる銀座の「散策性」と、通りの「表層」との関係性を分析した研究が発表されました。

いずれも、銀座の通りを丁寧に歩き回り、1軒ごとの建物のファサードデザインや用途を細かく調査し、分析したものがベースとなっており、街の基礎データづくりとしても大変貴重な調査となっています。

銀座の方からは、「今後ぜひ、1998年に地区計画ができて以降の建物用途の変遷、それによる商業(飲食、物販)への経済的影響の調査を行ってほしい」という要望がありました。

最後に、学生たちを指導してくださった小林博人先生(慶應義塾大学大学院准教授)、倉田直道先生・野澤康先生(工学院大学教授)に感謝して会を終えました。

銀座街づくり会議では、これらの調査結果を、これからどのように銀座街づくりに生かしていくかを考えていきたいと思っています。